

# 中小企業景気動向調査結果

(2021年10月～12月期実績と2022年1～3月期の見通し)

調査日 2021年11月中旬  
 調査方法 金庫職員による面接聴き取り調査  
 調査対象 金庫取引先306社(製造業 75社、卸売業 31社、小売業 46社  
 サービス業 58社、建設業 62社、不動産業 34社)

有効回答率 83.7%

分析方法 (D.I.):diffusion index 「良い」とみる割合から「悪い」とみる割合を引いたもの。

「良い」(上昇) および「やや良い」(やや上昇) の割合 - 「悪い」(低下) および「やや悪い」(やや低下) の割合。

## 概 況

### 1. 景況 ～業況は6業種すべてにおいて改善～

今期(2021年10月～12月期)の総合業況判断D.I.は▲21.4。厳しい水準にあるが、6業種全てで改善がみられ、前回調査(2021年7～9月期)の▲34.1から12.7ポイントの大幅な改善となった。業種別では、不動産業で29.6ポイント、製造業で20.5ポイント、建設業で16.4ポイントと大幅な改善が見られた。サービス業、卸売業、小売業においても小幅ながら改善が見られた。業況面では売上額D.I.が前期比10.3ポイント改善、収益D.I.についても前期比13.2ポイントの改善となっている。

雇用面では、人手不足判断D.I.が▲23.5ポイントとなり、業況の改善に伴って、人手不足感は更に強まっている。

### 2. 3か月後の見通し～業況は今期と比べ厳しい見通し～

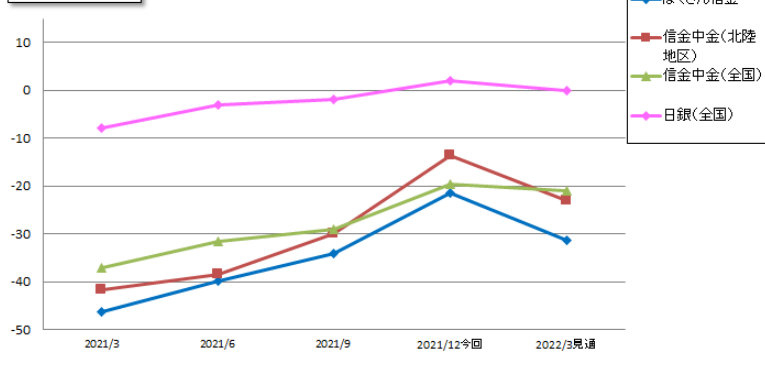
足元の業況についてはコロナ収束に伴って宿泊業、飲食業の業況に回復が見られる他、製造業についても工作機械部品、合繊などフル稼働の企業もみられ、堅調に推移していくものと考えられる。一方、世界的な物流の混乱、原油高、円安に伴う輸入資材価格上昇など不安材料もあり、来期の調査結果(業況判断D.I.)は▲31.4、今期実績比で10.0ポイント低下し厳しい見通しとなっている。

地区別では、能美地区の製造業において業績回復が見込まれ改善の見通しとなっているが、金沢地区、石川西地区、石川東地区、小松地区においては厳しい見通しとなっている。

【総合 主要DI】

	2021年 3月	6月	前回 9月	今回 12月	次回見通し 2022年 3月	方向 (前回比)
業況判断	▲46.4	▲39.8	▲34.1	▲21.4	▲31.4	↗
売上額	▲39.7	▲22.1	▲23.5	▲13.2	▲26.5	↗
収益	▲39.3	▲34.3	▲26.1	▲12.9	▲29.0	↗
販売価格	▲6.8	▲6.6	▲4.1	14.3	7.2	↗
仕入価格	13.6	32.8	37.3	47.1	39.1	↗
在庫	4.0	1.3	1.9	▲10.5	▲7.1	↘
資金繰り	▲19.8	▲16.3	▲21.0	▲11.4	▲13.0	↗
人手	▲8.8	▲7.5	▲15.8	▲23.5	▲23.9	↘

総合業況判断DI



※全国・北陸のデータは、信金中央金庫の「全国中小企業景気動向調査」を参照しています。

## 【業種別業況天気図】

業種別業況天気図	2021年3月	2021年6月	前回 2021年9月	今回 2021年12月	次回見通し 2022年3月
総 合	☔	☔	☔	☁	☔
製 造 業	☔	☔	☔	☁	☔
卸 売 業	☔	☔	☔	☔	☁
小 売 業	☔	☔	☔	☔	☔
サ ー ビ ス 業	☔	☔	☔	☔	☔
建 設 業	☁	☁	☁	☁	☁
不 動 産 業	☁	☁	☁	☁	☁

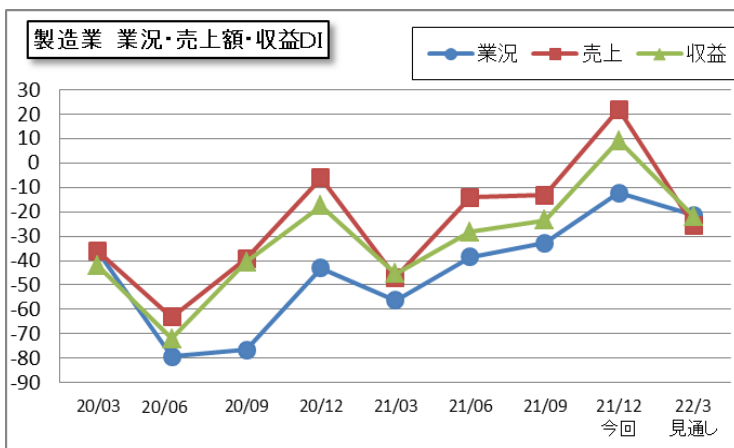
好調 ← (業況DI目安) 100 ← 40 ← 25 ← 0 → △25 → △40 → 低調 → 100

# 業種別の特徴(業況DI)

## 製造業

今回調査業況DIは、「▲12.3」

～ 前回調査比 20.5ポイントの改善 ～



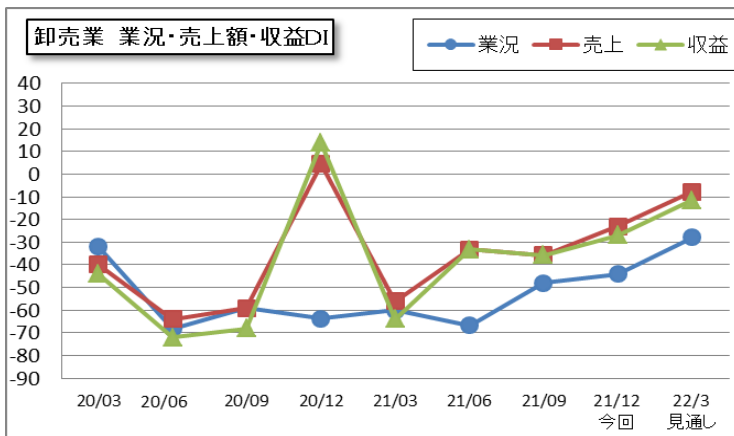
### 【製造業 主要DI】

	2021年 3月	6月	前回 9月	今回 12月	次回見通し 2022年 3月	方向 (前回比)
業況判断	▲56.3	▲38.6	▲32.8	▲12.3	▲21.5	↗
売上額	▲46.9	▲14.1	▲13.2	21.9	▲25.4	↗
収益	▲45.3	▲28.2	▲23.5	9.2	▲21.9	↗
販売価格	▲9.5	▲10.1	▲7.6	9.2	7.8	↗
原材料価格	16.1	44.9	50.8	58.5	51.6	↗
原材料在庫	7.9	4.4	7.7	1.5	4.7	↘
資金繰り	▲21.9	▲5.6	▲17.6	▲16.9	▲21.9	↗
人手	4.8	0.0	▲19.1	▲21.9	▲25.4	↘

## 卸売業

今回調査業況DIは、「▲44.0」

～ 前回調査比 4.1ポイントの改善 ～



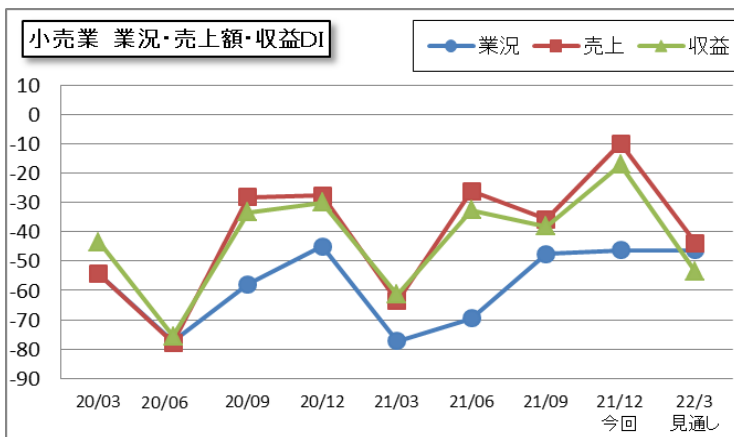
### 【卸売業 主要DI】

	2021年 3月	6月	前回 9月	今回 12月	次回見通し 2022年 3月	方向 (前回比)
業況判断	▲60.0	▲66.7	▲48.1	▲44.0	▲28.0	↗
売上額	▲56.0	▲33.3	▲35.7	▲23.1	▲7.7	↗
収益	▲64.0	▲33.3	▲35.7	▲26.9	▲11.5	↗
販売価格	▲4.0	7.4	▲3.6	23.1	23.1	↗
仕入価格	8.0	18.5	21.4	53.8	50.0	↗
在庫	20.0	18.5	17.9	23.1	19.2	↗
資金繰り	▲16.0	▲14.8	▲10.7	▲23.1	▲26.9	↘
人手	8.0	▲15.4	▲7.4	▲15.4	▲15.4	↘

## 小売業

今回調査業況DIは、「▲46.3」

～ 前回調査比 1.3ポイントの改善 ～



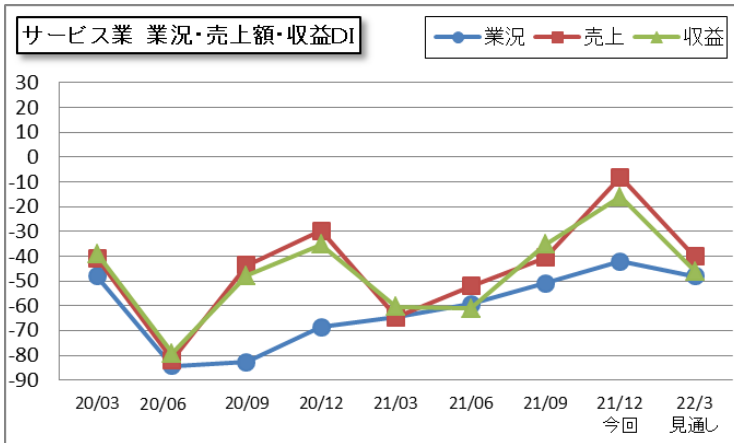
### 【小売業 主要DI】

	2021年 3月	6月	前回 9月	今回 12月	次回見通し 2022年 3月	方向 (前回比)
業況判断	▲77.3	▲69.6	▲47.6	▲46.3	▲46.3	↗
売上額	▲63.6	▲26.1	▲35.7	▲9.8	▲43.9	↗
収益	▲61.4	▲32.6	▲38.1	▲17.1	▲53.7	↗
販売価格	▲9.1	▲6.5	0.0	15.0	9.8	↗
仕入価格	15.9	19.6	33.3	39.0	24.4	↗
在庫	0.0	11.1	9.5	▲7.3	▲12.2	↘
資金繰り	▲36.4	▲32.6	▲38.1	▲24.4	▲31.7	↗
人手	▲4.8	2.3	▲7.5	0.0	▲5.1	↗

サービス業

今回調査業況DIは、「▲42.0」

～ 前回調査比 8.9ポイントの改善 ～



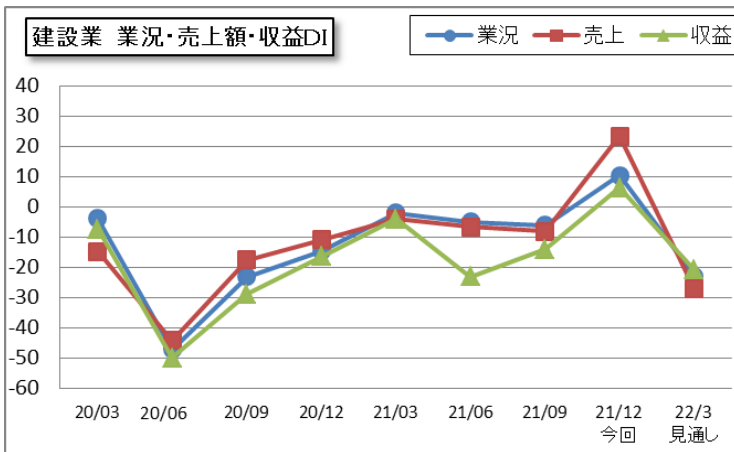
【サービス業 主要DI】

	2021年 3月	6月	前回 9月	今回 12月	次回見通し 2022年 3月	方向 (前回比)
業況判断	▲64.6	▲59.3	▲50.9	▲42.0	▲48.0	↗
売上額	▲64.6	▲51.9	▲40.4	▲8.0	▲40.0	↗
収益	▲60.4	▲61.1	▲35.1	▲16.0	▲46.0	↗
料金価格	▲4.2	1.9	▲3.5	10.0	▲2.0	↗
材料価格	14.6	27.8	33.3	58.0	42.0	↗
資金繰り	▲35.4	▲37.0	▲38.6	▲18.0	▲22.0	↗
人手	▲2.1	▲9.4	▲8.9	▲30.6	▲25.0	↘

建設業

今回調査業況DIは、「10.4」

～ 前回調査比 16.4ポイントの改善 ～



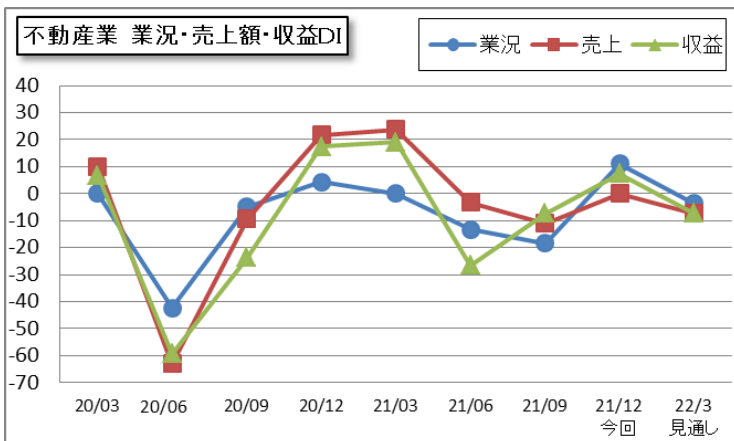
【建設業 主要DI】

	2021年 3月	6月	前回 9月	今回 12月	次回見通し 2022年 3月	方向 (前回比)
業況判断	▲2.0	▲4.9	▲6.0	10.4	▲22.9	↗
売上額	▲4.0	▲6.6	▲8.0	23.4	▲27.1	↗
収益	4.0	▲23.0	▲14.0	4.2	▲27.1	↗
請負価格	▲6.0	▲14.8	▲6.0	6.3	▲12.5	↗
材料価格	14.0	45.9	50.0	58.3	50.0	↗
在庫	2.1	▲1.7	0.0	▲8.7	▲8.7	↘
資金繰り	▲2.0	▲6.6	▲4.0	4.2	▲6.3	↗
人手	▲42.0	▲22.0	▲30.6	▲37.5	▲22.9	↘

不動産業

今回調査業況DIは、「11.1」

～ 前回調査比 29.6ポイントの改善 ～

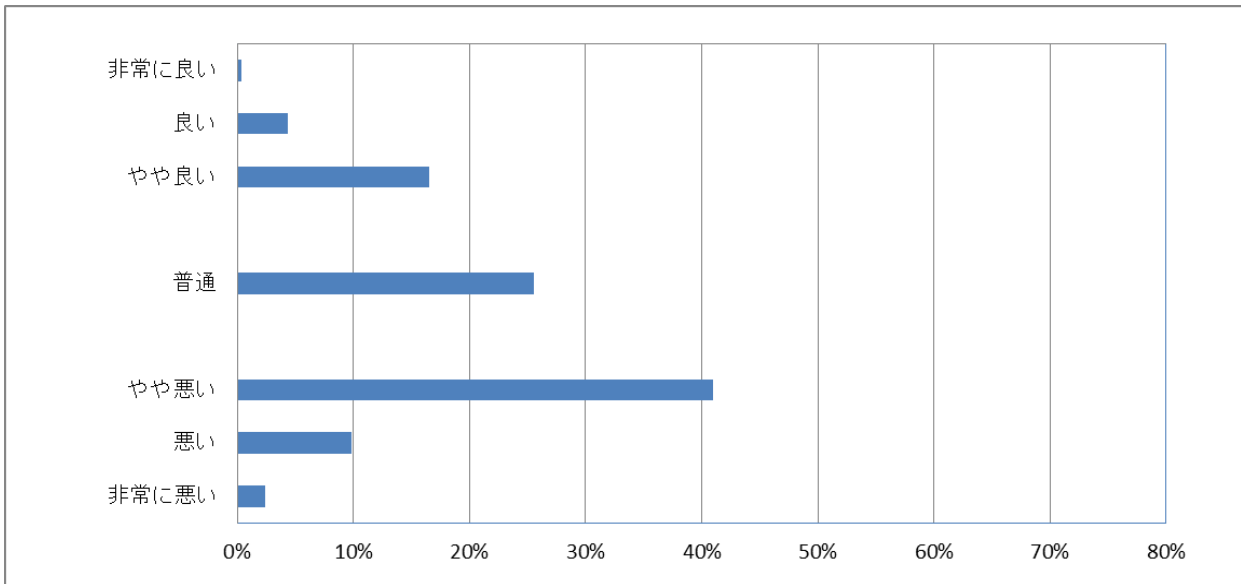


【不動産業 主要DI】

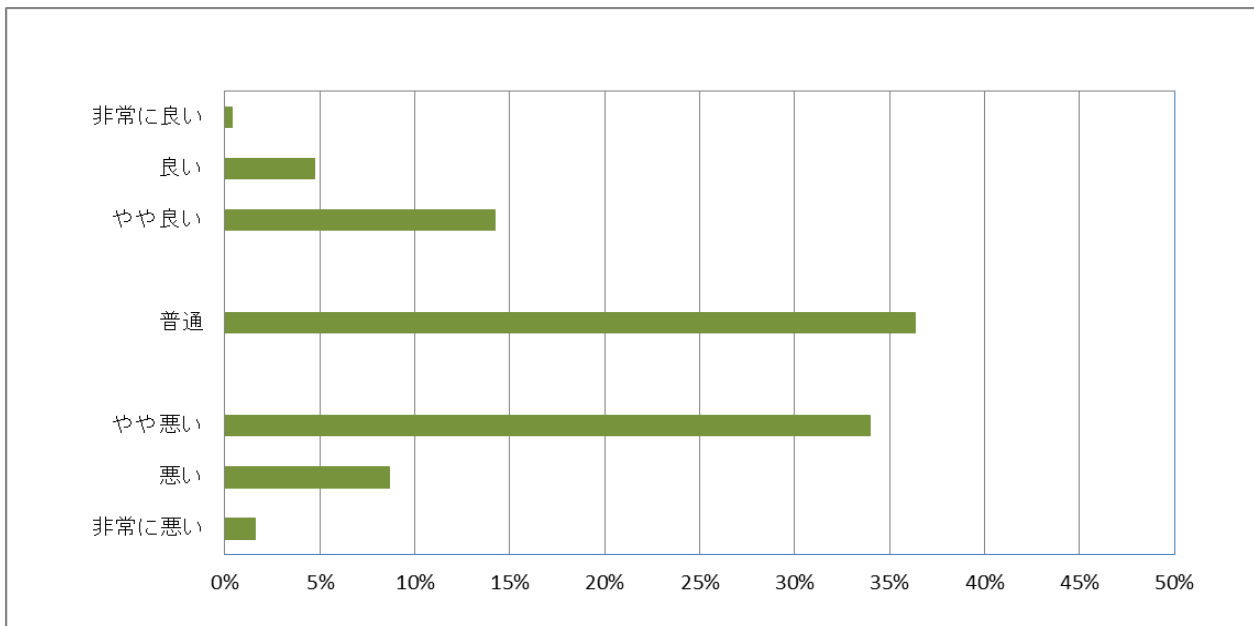
	2021年 3月	6月	前回 9月	今回 12月	次回見通し 2022年 3月	方向 (前回比)
業況判断	0.0	▲13.3	▲18.5	11.1	▲3.7	↗
売上額	23.8	▲3.3	▲11.1	0.0	▲7.4	↗
収益	19.0	▲26.7	▲7.4	7.4	▲7.4	↗
販売価格	▲4.8	▲10.0	0.0	11.1	18.5	↗
仕入価格	4.8	20.0	11.5	26.9	19.2	↗
在庫	▲14.3	▲30.0	▲38.5	▲38.5	▲38.5	→
資金繰り	9.5	0.0	▲7.4	3.7	3.7	↗
人手	▲14.3	0.0	▲15.4	▲11.5	▲16.0	↗

## 特別調査【2022年(令和4年)の経営見通しについて】

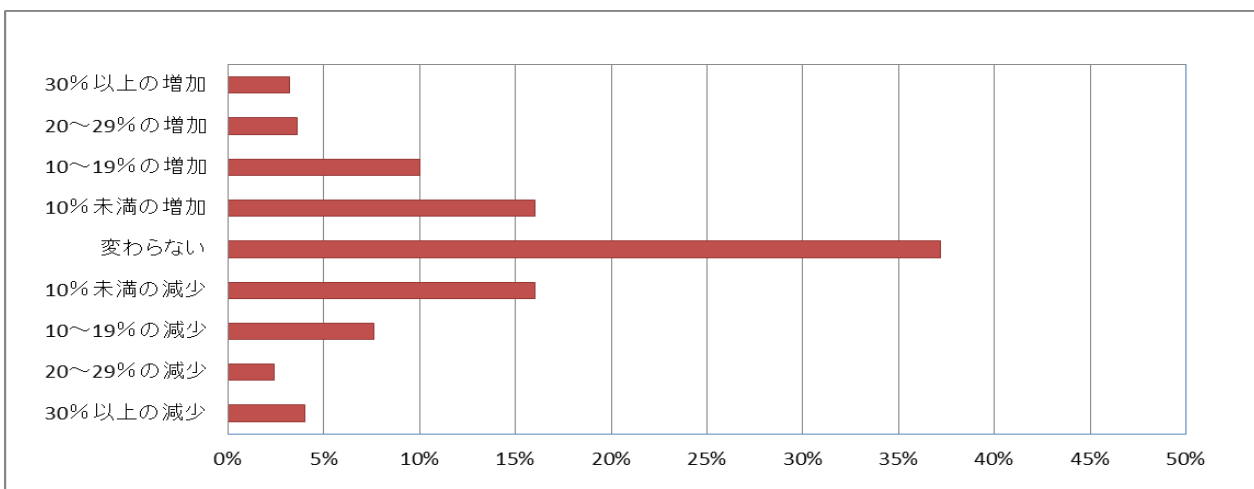
問1. 貴社では、2022年の日本の景気をどのように見通していますか。



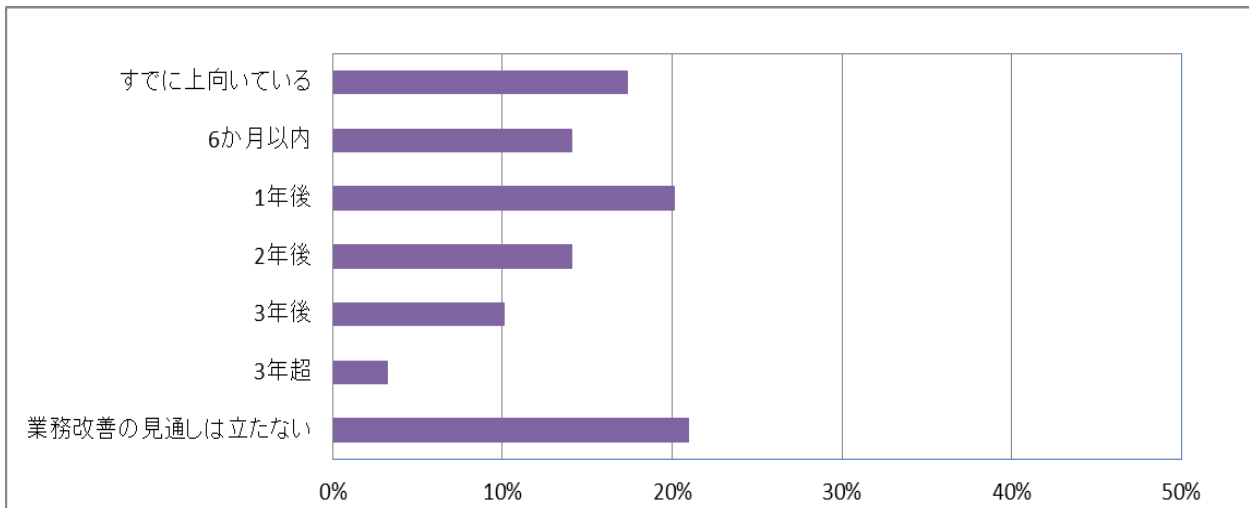
問2. 貴社では、2022年の自社の業況(景気)をどのように見通していますか。



問3. 2022年において貴社の売上額の伸び率は、2021年に比べておよそどのくらいになると見通していますか。



問4. 貴社では、自社の景況が上向き転換点をいつ頃になると見通していますか。



問5. 様々な分野で原材料・仕入れ価格の上昇が経営上の問題となっていますが、貴社ではどのような対応を取っていますか。

